

# サウンディング型市場調査の結果について

今回のサウンディング型市場調査については、

## 「公共・公益施設の整備・運営に関する事業の実現性」「民間収益施設のニーズ把握」「民間事業者の参画意向」

を主な対話内容として、全体的な整備方針の検討材料とするため実施したものです。

### 対話結果

#### 公共・公益施設の整備・運営に関する事業の実現性

- ✓ 公共・公益施設は単独施設として整備した方が事業はスムーズに進行する。その事業手法は、リース方式やDBOが事業の実現性が高いと思われる。
- ✓ 賃料や期間、運営面等の調整が整えば、公共・公益施設を民間収益施設に合築することが可能な場合もある。
- ✓ 公民の負担区分を明確にすれば、事業の実現性は高まる。
- ✓ 収益性が低い公共・公益施設については、行政の財政負担が必要である。
- ✓ 観光用駐車場や広場の整備・配置計画については、敷地全体のゾーニング、動線、建物の視認性等に配慮する必要がある。

#### 民間収益施設のニーズ把握

- ✓ 旧喜多方東高校跡地は立地条件に恵まれていることから、商業施設のニーズは有していると思われる。
- ✓ 宿泊施設、集会・交流施設の誘致に関しては、行政の財政的な支援を要する可能性が高い。

#### 民間事業者の参画意向

- ✓ 具体的な参画意向を有している。
- ✓ 他企業と連携した参画の可能性を有している。
- ✓ 特定の分野に限定した参画の可能性を有している。

#### そ の 他

- ✓ 旧喜多方東高校跡地の更地化の時期（民間事業者の工事への着手が可能となる時期）が遅くなる程、建築コスト上昇等のリスクが大きくなることから、早期の更地化を希望する。
- ✓ スケジュールについて、事業者の公募開始から施設工事等の着手までの期間が大きく空く場合、民間事業者側の経済条件の調整が困難であるため、適切な期間設定が必要である。